

夢と現を生きた、高僧・明恵。

京都・高山寺を築いた明恵(一一七三―一二三三)は、修行に励んだ青年期から弟子たちに囲まれた晩年まで、夢を記録しつづけてきました。これを「夢記」といいます。睡眠中にみる夢だけでなく、夢想や瞑想など様々な形の夢が含まれています。「夢記」は弟子に受け継がれ、その多くが高山寺に伝来しました。

「夢記」を紐解くと、明恵の生涯の軌跡は夢と分かちがたく結びついていました。本展では、明恵の夢の世界を、高山寺の寺宝の数々を中心に、明恵の身近にあった作品から描き出してみます。

明恵のみた

夢

の 展覧会



後期 国宝 仏眼仏母像  
平安～鎌倉時代 京都・高山寺蔵



前期 春和夜神像  
鎌倉時代 京都・高山寺蔵

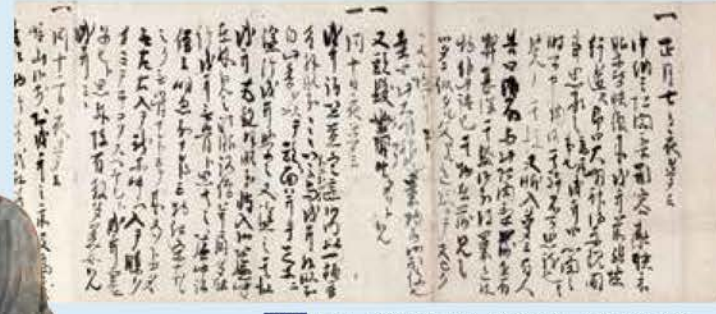


重要文化財  
子犬  
鎌倉時代  
京都・高山寺蔵



重要文化財  
神鹿  
鎌倉時代  
京都・高山寺蔵

夢記 鎌倉時代 村山コレクション



後期 国宝 鳥獣戯画丙巻 鎌倉時代 京都・高山寺蔵

鳥獣戯画 全4巻も特別公開

ウサギや蛙、幻想的な聖獣が躍動する甲巻・乙巻は前期に、動物とともに滑稽味あふれる人の世界を描き出した丙巻・丁巻は後期に展示します。明恵の夢の世界と一脈通ずる鳥獣戯画の世界をご堪能ください。

前期 国宝 鳥獣戯画甲巻 平安時代 京都・高山寺蔵



会期中、展示替えがあります。前期 3月21日(木・祝)～4月14日(日) 後期 4月16日(火)～5月6日(月・振替休日)



明恵の夢をもっと知るための 講演会

参加料：各500円(展覧会の観覧には別途観覧券をお求めください)  
場 所：中之島会館(中之島香雪美術館と同じフロア)  
応募締切：3月29日消印有効  
【応募方法】◎往復ハガキ(1枚で2名様まで応募可能)に、参加希望の講演会番号(または2)、人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送でご応募ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所氏名をご記入ください。応募者多数の場合は抽選となります。当選者には、返信ハガキで参加証を郵送します。  
◎講演会1、講演会2の両方に参加ご希望の方は、それぞれの講演会宛宛に往復ハガキをお送りください。◎宛先：〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階 中之島香雪美術館 講演会1野呂靖氏 講演会係または中之島香雪美術館 講演会2河合俊雄氏 講演会係 ※参加ご希望の講演会係の宛名をご記入ください。

講演会1 4月12日(金)14:00～15:30

のろせい 野呂靖氏(龍谷大学文学部准教授)

「明恵はなぜ夢を記録したか?」

お話のポイントは、「仏教の夢解釈」と明恵の究めた「華嚴思想」です。

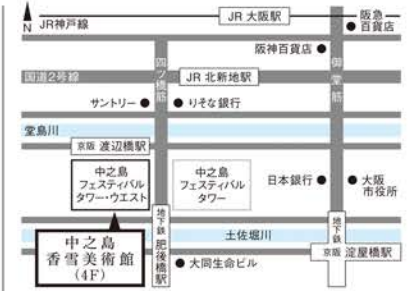


講演会2 4月18日(木)14:00～15:30

かわいとしお 河合俊雄氏(京都大学こころの未来研究センター長・教授)

「明恵の夢の現代における意味」

お話のポイントは、明恵の夢が「われわれの生き方にもたらす示唆」です。



◎Osaka Metro四つ橋線「肥後橋」駅4番出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅12番出口直結◎JR「大阪」駅桜橋口より徒歩11分◎Osaka Metro御堂筋線「淀屋橋」駅7番出口より徒歩5分◎JR東西線「北新地」駅11-5出口より徒歩8分

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art  
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4  
中之島フェスティバルタワー・ウエスト4F  
TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 朝日新聞  
http://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/

[中之島香雪美術館次回展] 茶席を彩る中国のやきもの 2019年5月25日(土)～8月4日(日)  
[香雪美術館(神戸・御影)展覧会情報] 梅若六郎家所蔵の能面と能装束 2019年2月26日(火)～5月6日(月・振替休日)